



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日  
東上場会社名 株式会社カネカ  
コード番号 4118

上場取引所

URL <https://www.kaneka.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 稔

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員IR・広報  
(Investors & Public Relations)部長

(氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	370,116	△2.8	12,606	△39.4	12,741	△43.4	8,897	△46.3
2023年3月期第2四半期	380,602	15.2	20,813	△9.6	22,518	7.8	16,568	12.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 26,201百万円(△1.5%) 2023年3月期第2四半期 26,605百万円(40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	137.09	136.71
2023年3月期第2四半期	252.67	252.04

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	841,246	456,974	51.9
2023年3月期	782,640	436,422	53.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 436,878百万円 2023年3月期 417,372百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2024年3月期	—	55.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	779,000	3.1	35,500	1.2	33,500	3.4	26,000	13.0	400.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	68,000,000株	2023年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,085,700株	2023年3月期	3,106,293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	64,905,854株	2023年3月期2Q	65,573,827株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年11月9日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

➤ 世界経済の状況 —景気回復遅れ 不透明な状況—

当第2四半期累計期間（2023年4月～9月、以下2Q累計）は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に加え、中東情勢が緊迫化。地政学・カントリーリスクが世界の景気回復を遅らす大きな要因となっています。欧米は金融引き締めが継続し、米中摩擦や中国経済のシュリンクなどを原因として、グローバル経済の停滞が続いています。農業・漁業などの第一次産業、デジタル部品を含む製造業など、広い範囲で出口の見えない状況が続いています。

➤ 当社グループの業績 —減収減益 重点領域ライフサイエンスは堅調—

このような状況下、当社グループの2Q累計の業績は、売上高370,116百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益12,606百万円（前年同期比39.4%減）、経常利益12,741百万円（前年同期比43.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,897百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

厳しい需要環境下、当第2四半期（2023年7月～9月、以下2Q）はすべての事業セグメントで第1四半期（2023年4月～6月、以下1Q）の収益水準並みかそれ以上となり、着実に回復が進んでいます。Material、E&I、Fiberで海外需要の停滞が続きましたが、Health Care、Nutrition領域は安定して収益に貢献しました。ポートフォリオ変革は着実に進んでいます。四半期純利益は、前年3Q（2022年10月～12月）以降、改善が続いています。

2024年3月期 第2四半期 連結業績 (単位：百万円)

	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	増減
売上高	380,602	370,116	△10,485 (△2.8%)
営業利益	20,813	12,606	△8,206 (△39.4%)
経常利益	22,518	12,741	△9,777 (△43.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,568	8,897	△7,670 (△46.3%)

セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2024年3月期			前年同期比	2024年3月期			前年同期比
	1Q	2Q	2Q累計		1Q	2Q	2Q累計	
Material SU	77,659	78,814	156,474	△16,420 (△9.5%)	5,513	6,610	12,123	△6,580 (△35.2%)
Quality of Life SU	40,878	43,880	84,758	△2,436 (△2.8%)	2,939	4,159	7,099	△1,569 (△18.1%)
Health Care SU	17,745	18,448	36,193	2,200 (6.5%)	2,967	2,926	5,893	△1,616 (△21.5%)
Nutrition SU	46,037	46,006	92,043	6,073 (7.1%)	2,277	2,298	4,575	2,472 (117.6%)
その他	419	226	645	98 (17.9%)	288	101	389	107 (38.0%)
調整額	-	-	-	-	△8,381	△9,093	△17,475	△1,020 (-)
計	182,740	187,376	370,116	△10,485 (△2.8%)	5,603	7,002	12,606	△8,206 (△39.4%)

2023年5月発表の経営計画「いのちの経営」で、地球生命を健康にするテクノロジーとしてライフサイエンス領域を定義し、重点シフトに取り組んでいます。この領域であるMedical、Pharma、Supplement、乳製品、PVでは業容の更なる拡大に向けた施策を着実に進めており、Green Planet、食糧生産支援でも市場開発を加速させています。

各セグメントの状況は次のとおりです。

### ① Material Solutions Unit

当ユニットは、欧米・アジアの景気停滞が長期化するなか、前年3Qを底として回復基調にありますが、その戻る力は想定以上に弱く、減収減益となりました。

- Vinylsは、塩ビ・か性ソーダともに中国経済の回復遅れやアジア市況の下落の影響を大きく受け、低調に推移しました。
- MODは、欧米での高インフレ・高金利が継続し、建築用途の需給調整が長引いているなか、2Q後半から非塩ビ向けやアジア市場の需要が回復基調にあります。エポキシマスターバッチ(MX)は、EVの構造接着剤向けを中心に順調に拡大し、新規用途での拡販も進めています。
- MSは、需要が底を脱し、新地域・新規用途への拡販も進み、増益となりました。グローバルな需要増大に対応するため、ベルギーでの生産能力増強を進めています。
- Green Planetは、市場開発のキーとなる様々な加工技術や、求められる機能性向上のための配合技術が進み、バイオものづくり力の強化が進んでいます。日米欧の大手ブランドホルダーとの共同開発も順調に進んでいます。

### ② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、スマートフォン市場低迷が主要因で、減収減益となりました。

- Foamのスチレン系発泡樹脂の需要は低調に推移したものの、価格改定などによりスプレッドが改善しました。発泡ポリオレフィンは、自動車向け需要が国内・海外ともに回復しています。全体としては増収増益となりました。
- PVは、住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しています。新築住宅などへの太陽電池設置義務化の動きが全国に広がっており、更なる需要伸長を見通した生産基盤の強化を進めています。
- E&Iは、スマートフォン市場の需要回復が見られるものの、足取りが想定より遅く、ポリイミド製品の販売回復が遅れています。本格的な回復時期は、当第3四半期(2023年10月～12月、以下3Q)以降と見込んでいます。大型TV向けアクリル樹脂及び有機EL向けポリイミドワニスの需要は底を脱し、堅調に推移しました。
- Fiberは、アフリカ市場の出荷は1Qを底に回復しております。軽量・撥水・抗菌など高機能新製品の市場評価は高く、またアフリカの未開拓地域への販売拡大により需要増大の取り組みに注力しています。

### ③ Health Care Solutions Unit

当ユニットは、Medicalは市場開拓が進み、堅調な業績となりました。Pharmaは一部出荷が3Q以降にずれ込みました。

- Medicalは、血液浄化器・カテーテルともに国内外で販売が拡大し、業績は堅調に推移しました。一層の業容拡大を目的に米国市場で販売体制を強化しており、4Q以降一段の増収増益を目指しています。北海道の血液浄化器工場は来年春の稼働に向け、順調に建設を進めています。また、カテーテルのグローバル展開に対応すべく、生産拠点の新設の検討を急いでいます。

- Pharmaは、コロナ禍の沈静化と顧客の出荷調整の影響を受けました。カネカユーロジェンテックのバイオ事業は、開発段階から量産まできめ細かい対応力を生かしたバイオ医薬の新規案件獲得、低分子医薬品は長年の実績をベースとした国内外市場での拡販に取り組んでいます。  
mRNAの能力増強工事は年末に完工予定であり、グローバル需要の増大に対応すべく、遺伝子疾患やがん治療薬用での採用を進めてまいります。

#### ④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Foods、Supplementともに好調を持続し、大幅な増収増益となりました。3Q以降も堅調な業績が見込まれます。

- Supplementは、還元型Q10が米国・アジア・オセアニアなどで順調に販売を伸ばしています。販促活動を更に強化し、市場拡大を目指します。乳酸菌事業も拡販が進み、生産拠点の新設も検討を始めており、着実に販売を拡大させていきます。
- Foodsは、高付加価値品への販売シフト及びスプレッドの改善が大きく寄与しました。有機乳製品をはじめ付加価値の高い新規事業の拡大を進め、事業基盤を強化しています。カネカ食品では国内全拠点をカバーするカスタマーセンター設置などの業務革新を進め、収益力の向上に注力しています。

### (2) 財政状態に関する説明

- 資産、負債及び純資産の状況  
2Q末の総資産は、棚卸資産の増加に加え、設備投資拡大による固定資産の増加、円安による海外グループ会社の資産額増加等により前期末に対して58,606百万円増加の841,246百万円となりました。  
負債については借入金増加等により38,053百万円増加の384,271百万円となりました。  
純資産については、円安による為替換算調整勘定の増加や保有株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により20,552百万円増加の456,974百万円となり、自己資本比率は51.9%となりました。
- キャッシュ・フローの状況  
2Q累計の営業活動によるキャッシュ・フローは運転資金の増加や法人税等の支払による支出の一方、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等による収入により24,029百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により30,642百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出の一方、借入金増加による収入があり9,873百万円の収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の残高は、44,900百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東地域での新たな紛争の勃発もあり、世界経済の不透明感が増しています。  
IMFは2023年の世界GDP成長率が3%に鈍化するとの見通しを発表しました。

この世界経済のStormyな逆風の中でも、ライフサイエンス領域のHealth Care SUセグメントはPharma、Medicalともに研究開発型新製品が力を発揮し、収益拡大が続くものと見通しています。

FoodsとSupplementを束ねるNutritionSUセグメントは、「食と健康」の意識の高まりと、インバウンドの再開により市場は活況を取り戻しています。業績を引き続き牽引する事業領域として注目しています。

原料動向や為替変動の影響を受けていたMaterial・QOL SUセグメントについても、MOD・E&I・Fiberの市場が回復に向かっています。  
 技術革新を取り入れたコスト競争力強化に取り組んでまいります。  
 業績の回復は3Q以降も着実に加速する見込みです。

2Qまでの業績及び今後の事業環境の見通しを踏まえ、2023年5月12日公表の連結業績予想を修正いたします。

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	800,000	42,000	38,500	27,000	416.06
今回修正予想（B）	779,000	35,500	33,500	26,000	400.58
増減額（B－A）	△21,000	△6,500	△5,000	△1,000	
増減率（％）	△2.6	△15.5	△13.0	△3.7	
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	755,821	35,087	32,411	23,008	349.59

セグメント別業績予想

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	323,000	<b>332,000</b>	9,000 (2.8%)	27,500	<b>25,700</b>	△1,800 (△6.5%)
Quality of Life SU	212,000	<b>180,000</b>	△32,000 (△15.1%)	21,600	<b>17,400</b>	△4,200 (△19.4%)
Health Care SU	82,000	<b>79,000</b>	△3,000 (△3.7%)	17,700	<b>16,000</b>	△1,700 (△9.6%)
Nutrition SU	182,000	<b>187,000</b>	5,000 (2.7%)	8,600	<b>12,000</b>	3,400 (39.5%)
その他	1,000	<b>1,000</b>	- (-)	600	<b>600</b>	-
調整額	-	-	-	△34,000	<b>△36,200</b>	△2,200 (-)
計	800,000	<b>779,000</b>	△21,000 (△2.6%)	42,000	<b>35,500</b>	△6,500 (△15.5%)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,774	46,253
受取手形、売掛金及び契約資産	170,154	183,493
有価証券	94	-
商品及び製品	89,223	97,594
仕掛品	13,317	11,556
原材料及び貯蔵品	65,574	69,173
その他	18,327	19,275
貸倒引当金	△1,502	△1,597
流動資産合計	396,964	425,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,399	97,451
機械装置及び運搬具（純額）	107,829	108,440
その他（純額）	88,385	104,456
有形固定資産合計	292,615	310,348
無形固定資産		
のれん	2,201	2,050
その他	13,987	14,255
無形固定資産合計	16,189	16,306
投資その他の資産		
投資有価証券	57,422	68,191
その他	19,731	20,958
貸倒引当金	△283	△309
投資その他の資産合計	76,870	88,840
固定資産合計	385,675	415,495
資産合計	782,640	841,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,663	98,244
短期借入金	116,491	137,130
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払法人税等	5,055	4,532
引当金	119	7
その他	47,912	54,387
流動負債合計	258,242	299,302
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	33,706	31,628
引当金	2,375	2,193
退職給付に係る負債	20,829	20,716
その他	21,063	25,430
固定負債合計	87,974	84,969
負債合計	346,217	384,271
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	32,245	30,333
利益剰余金	323,213	328,526
自己株式	△11,407	△11,331
株主資本合計	377,098	380,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,204	29,704
繰延ヘッジ損益	△3	3
為替換算調整勘定	11,543	20,224
退職給付に係る調整累計額	6,529	6,370
その他の包括利益累計額合計	40,273	56,303
新株予約権	622	648
非支配株主持分	18,427	19,447
純資産合計	436,422	456,974
負債純資産合計	782,640	841,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	380,602	370,116
売上原価	277,284	274,003
売上総利益	103,317	96,112
販売費及び一般管理費	82,503	83,506
営業利益	20,813	12,606
営業外収益		
受取配当金	928	931
為替差益	3,365	2,007
持分法による投資利益	93	73
その他	395	408
営業外収益合計	4,783	3,420
営業外費用		
支払利息	750	1,600
固定資産除却損	692	590
その他	1,634	1,093
営業外費用合計	3,077	3,285
経常利益	22,518	12,741
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,138
事業譲渡益	-	517
特別利益合計	-	1,656
税金等調整前四半期純利益	22,518	14,397
法人税、住民税及び事業税	5,563	4,806
法人税等調整額	△107	14
法人税等合計	5,456	4,820
四半期純利益	17,062	9,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	493	679
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,568	8,897

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	17,062	9,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,854	7,595
繰延ヘッジ損益	8	7
為替換算調整勘定	10,994	9,182
退職給付に係る調整額	391	△158
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△3
その他の包括利益合計	9,543	16,623
四半期包括利益	26,605	26,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,670	24,927
非支配株主に係る四半期包括利益	935	1,273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	22,518	14,397
減価償却費	19,563	20,105
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△108	△623
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△121	65
受取利息及び受取配当金	△1,075	△1,037
支払利息	750	1,600
持分法による投資損益 (△は益)	△93	△73
固定資産処分損益 (△は益)	366	226
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1,138
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,272	△10,418
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,725	△5,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,184	7,831
その他	△2,960	5,532
小計	13,657	30,599
利息及び配当金の受取額	1,100	1,017
利息の支払額	△753	△1,532
法人税等の支払額	△3,591	△6,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,412	24,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,979	△28,466
有形固定資産の売却による収入	80	1
無形固定資産の取得による支出	△1,105	△2,249
投資有価証券の取得による支出	△85	△78
投資有価証券の売却による収入	0	2,031
貸付けによる支出	△98	△92
貸付金の回収による収入	78	185
その他	134	△1,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,975	△30,642

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,380	11,284
長期借入れによる収入	109	3,684
長期借入金の返済による支出	△5,451	△422
リース債務の返済による支出	△480	△580
自己株式の取得による支出	△763	△3
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△3,914	△3,569
非支配株主からの払込みによる収入	0	-
非支配株主への配当金の支払額	△192	△152
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,684	9,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,317	908
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,561	4,168
現金及び現金同等物の期首残高	40,712	40,699
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	32
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,151	44,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	172,895	87,195	33,993	85,970	380,054	547	380,602	—	380,602
セグメント間の 内部売上高又は振替高	162	18	—	29	210	551	761	△761	—
計	173,057	87,214	33,993	86,000	380,265	1,098	381,363	△761	380,602
セグメント利益	18,703	8,669	7,510	2,103	36,986	282	37,268	△16,455	20,813

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	36,986
「その他」の区分の利益	282
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△16,517
その他の調整額	61
四半期連結損益計算書の営業利益	20,813

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	156,474	84,758	36,193	92,043	369,471	645	370,116	—	370,116
セグメント間の 内部売上高又は振替高	105	16	—	18	141	571	712	△712	—
計	156,580	84,775	36,193	92,062	369,612	1,216	370,829	△712	370,116
セグメント利益	12,123	7,099	5,893	4,575	29,692	389	30,081	△17,475	12,606

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,692
「その他」の区分の利益	389
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△17,555
その他の調整額	79
四半期連結損益計算書の営業利益	12,606

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。